

保護者の皆様へ

校長 鳥居 圭

以前から緊急事態宣言が解除されている地域では、すでに子供たちの登校が始まっています。ある先生の「分散登校すごくいい！これが教育だと思った。幸せな気分」というSNSでのつぶやきが6万以上のいいねを集めたそうです。日本の法律では1学級の定員が40人までと決められているので、今回の登校スタイルによる、15人学級とか、18人学級とかという状況は通常あり得ないシチュエーションです。ある意味非常にゆとりのある学級が(2週間だけですが)生まれてくることになります。先生方は圧倒的に子供一人一人に目が届き、かかわることができるわけで、子供たちも考えたり体験したりする機会や時間がぐっと増えるかもしれません。学校がお休みの間、課題は出していましたが、取り組みにかなり差が出てくるかもしれないということは私たちも想定しているところです。その点、分散登校による少人数指導は、個別にフォローもしやすく、いわゆる「必要な知識や技能を身につけさせる」ということだけに限って言えば、教えやすさとしてはこのうえない環境だといえます。(ただ、先生方は同じ事を普段の倍話すことになるので、最後のほうはかなり疲れてしまうかもしれません。)

子供たちは3か月家でずっと過ごしていたわけですから、朝早く起きて、時間までに準備をして、出かけてというだけでも実はちょっとしたハードルがありそうです。私たち大人も今まで経験したことのないような、様々なストレスを抱えているかもしれません。すぐには3か月前には戻れないと思いますが、そこは少しずつゆっくりでも、学校生活に慣れていくという感覚が必要になってきます。登校初日はお互い不安や緊張があるかもしれませんが、それ以上に再会の喜びは大きいのではないかと思います。私自身も子供たちに会えることを今からとても楽しみにしています。

とにかく、今はまず目の前の子供たちの「こんな大変な世の中だけど、前向きにいこう」という気持ちを大切にしながら、そこから見えてくる課題にしっかりと、ていねいに向き合っていくことから始めたいと考えています。

笑顔が見える「透明マスク」を買ってみました。▶

